

ニセコ近隣アパート活況

高まる建設需要 リゾート従業員増で



国際リゾートとして開発が進む後志管内のニセコ地域(倶知安、ニセコ両町)の周辺自治体で、民間アパートの建設ラッシュが起きている。リゾートで働く従業員らの住宅が倶知安町内では満足に確保できず、家賃も高騰しているため。各自治体は通勤圏としての需要を見込んで建設費を助成するなど受け入れに向けた政策を強化し、定住人口の

増加につなげたい考えた。リゾートの中心、倶知安町ひらふ地区まで車で約30分の蘭越町市街地に8月、1LDK10室の集合住宅「メゾンパティオ蘭越」が完成し即満室となった。管理運営するのは札幌の不動産管理会社セントクリエーション。市街地よりさらにリゾートに近い同町昆布町にも集合住宅などの新築を計画しており、2020年

度の着工を目指す。吉田浩憲社長は「特に昆布町はニセコまで車で15分程度で通え、リゾート関係者の居住地域として発展の可能性がある」と話す。蘭越町内ではほかに、本年度中に同社の物件を含む5棟(31室分)が完成予定だ。倶知安町ではリゾート地区に大規模な宿泊施設が次々と開業し、従業員らの住宅需要は年々高まっている。18年度までの3年間で新築集合住宅の確認申請数は計約90棟800室分あったが、まだ足りない状態という。

町中心部の基準地価が5年間で3倍以上になったことで、家賃相場は上昇。町内の不動産業者によると、1LDKで5万〜8万円、2LDKで6万〜9万円程度で、周辺町村より1万〜2万円高いことも周辺町村での建設を加速させている。

周辺自治体はアパート建設が定住促進につながるとみて、支援政策に力を入れ、喜茂別町は12年度に民間集合住宅の建設費補助制度を導入。年々利用が増え、本年度までに12棟約100室が完成した。蘭越町も、17年度から同様の制度がある。京極町は20年1月以降に新築する集合住宅を対象に固定資産税減免制度の導入を決めた。梅田禎氏町長は「ニセコを含む羊蹄山麓がさらに発展するため、リゾートに集まる人の住宅環境を周辺の地域全体で整えることが大切だ」と話す。(内本智子)

周辺自治体はアパート建設が定住促進につながるとみて、支援政策に力を入れ、喜茂別町は12年度に民間集合住宅の建設費補助制度を導入。年々利用が増え、本年度までに12棟約100室が完成した。蘭越町も、17年度から同様の制度がある。京極町は20年1月以降に新築する集合住宅を対象に固定資産税減免制度の導入を決めた。梅田禎氏町長は「ニセコを含む羊蹄山麓がさらに発展するため、リゾートに集まる人の住宅環境を周辺の地域全体で整えることが大切だ」と話す。(内本智子)

町中心部の基準地価が5年間で3倍以上になったことで、家賃相場は上昇。町内の不動産業者によると、1LDKで5万〜8万円、2LDKで6万〜9万円程度で、周辺町村より1万〜2万円高いことも周辺町村での建設を加速させている。

町中心部の基準地価が5年間で3倍以上になったことで、家賃相場は上昇。町内の不動産業者によると、1LDKで5万〜8万円、2LDKで6万〜9万円程度で、周辺町村より1万〜2万円高いことも周辺町村での建設を加速させている。